

関係者各位

写真集『サハリンに残された日本』を刊行いたします



2017年
9月13日
発売予定

この9月、北海道大学出版会は、写真家・斉藤マサヨシ氏による写真集『サハリンに残された日本』を刊行いたします。

かつて日本が統治していたサハリン（樺太）。70年以上たったいまも、当時の日本人の足跡が、一部は壊れたり傷ついたりしながらも残っています。斉藤氏は10年以上にわたってサハリン全島をめぐり、サハリンの自然、日本時代の記憶と現在の人々の暮らしを写し続けています。

斉藤氏の撮影経路を辿るように構成された本写真集には、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター・岩下明裕教授や、井潤裕・同共同研究員、朝日新聞記者・刀祢館正明氏らによる寄稿や撮影地周辺の解説文もあわせて掲載します。

かつてサハリンにあった「日本」に思いを馳せる一冊になっています。

【写真集概要】

斉藤マサヨシ 著『サハリンに残された日本——樺太の面影、そして今——』

B5判・並製・88頁／定価：本体価格4200円＋税／2017年9月13日発売予定

ISBN 978-4-8329-3396-5 C 0072



著者紹介（左写真）

斉藤 マサヨシ（さいとう まさよし）

1955年 北海道稚内市生まれ

東京写真大学短期大学部（現東京工芸大学）卒業

稚内市役所に勤務、2015年退職

写真工房 Westen を主宰

サハリン（樺太）国境紀行など、国内外各地で写真展を開催

【問い合わせ先】

北海道大学出版会（担当：仁坂）

〒060-0809 札幌市北区北9条西8丁目 北大構内

TEL：011-747-2306／メール：hupress_1@hup.gr.jp

齊藤マサヨシ 著

サハリンに残された日本

—樺太の面影、そして今—

B5判・並製・88頁 定価 [本体価格 4200円＋税] ISBN: 978-4-8329-3396-5 C0072

サハリンの自然、日本時代の記憶と
現在の人々の暮らしを写し取った写真集



【目次】

サハリン（樺太）と私

稚内とサハリン、そして齊藤マサヨシさんと出会うまで（岩下明裕）
州都ユジノサハリンスクとその周辺地域

ユジノサハリンスク（豊原）／コルサコフ（大泊）／メレイ（女麗）／
レスノエ（落帆）／ポジャルスコエ（瑞穂）／ドリンスク（落合）／シ
ネゴルスク（川上炭鉱）／ブイコフ（内淵）

サハリンの西海岸地域

クリリオン湾（白主）／クリリオン湾から見える日本／クズネツオー
バ岬（宗仁岬）／ゴルノザボーツク（内幌）／プラウダ（広地）／ネベ
リスク（本斗）／ホルムスク（真岡）／トマリ（泊居）／クラスノゴル
スク（珍内）／ウグレゴルスク（恵須取）／ウダールヌイ（太平）／シ
ャフチョルスク（塔路）

サハリンの東海岸地域

スタロドブスコエ（栄浜）／ヴズモーリエ（白浦）／マカロフ（知取）
／ポロナイスク（敷香）／チュレニー島（海豹島）

北緯 50 度周辺と北サハリン地域

ポベジノ（古屯）／ユージナヤハンダサ（半田沢）／アレキシandroフ
スク・サハリンスキー／ヴィアフトウ／トウイク岬（ノテト岬）／ルブ
ロワ（ナニオー）／オハ

カメラを持った林蔵（刀祢館正明）
あとがき



注 文 書	書名	『サハリンに残された日本』を []冊 申し込みます (月 日)		
	ご芳名			
	ご送付先	〒		
	TEL		FAX	

●問い合わせ先●
北海道大学出版会
〒060-0809
札幌市北9条西8丁目 北大構
内 TEL: 011-747-2308
FAX: 011-736-8605
E-mail: hupress_1@hup.gr.jp